

資料 2(概要)

前橋市社会福祉審議会

第2回高齢者福祉専門分科会(R6.10.30)

(2) 第 8 期まえばしスマイルプランの総括について

②目標への取組と評価



前橋市の介護予防マスコットキャラクター
ピンちゃん・シャンちゃん

◎ 第8期計画の目標

目標Ⅰ	地域における連携強化
周囲とのつながりの弱い高齢者をはじめとする市民やその家族を地域全体で支えるため、地域における関係機関や多職種、住民間の一層の連携強化を目指します。	
目標Ⅱ	高齢者を支える生活支援体制の構築
地域住民が互いに尊重し合いながら、社会参加・共生する地域社会の実現に向けて、地域の多様な主体による支え合いに向けた取組を一層推進するほか、権利擁護、自然災害や感染症対策に係る体制を整備します。	
目標Ⅲ	介護予防・健康づくりの推進
身近な地域で心身や生活の状況に合わせた介護予防に取り組むことができるよう、介護予防の普及・啓発を進めるとともに、高齢者の生きがい活動・社会参加を促進します。また、高齢者の健康づくりに関係部門と連携して取り組みます。	
目標Ⅳ	認知症高齢者支援の充実
認知症の発症予防・進行抑制とともに、認知症になっても本人やその家族が地域とともに安心して暮らせる社会に向けた支援を充実させます。	
目標Ⅴ	サービスの充実と暮らしの基盤の整備
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、介護保険サービスと高齢者福祉サービスを充実させるとともに、高齢者向け住まいを計画的に整備していきます。また、幅広い分野での人材確保及び育成を国・県と連携して進めます。	
目標Ⅵ	安定した介護保険制度の運営
情報分析に基づく給付適正化を実施し、利用者が真に必要な過不足のないサービス提供を促すことで、効率的かつ安定的な介護保険事業の運営を目指します。	

◎ 評価の方法

① 中目標(※1)を測る指標の評価 ⇒次頁以降の表を参照

評価(配点)	一次評価(増減に対する達成度)			二次評価(担当)
	R3	R4	R5	R3~R5
A 順調に進んでいる(10点)	30%	60%	90%	 一次評価に基づき、 各事情(※2)を考慮して二次評価を実施
B 概ね順調に進んでいる(8点)	20%	45%	75%	
C 少し遅れている(6点)	15%	30%	45%	
D 遅れている(4点)	0%	0%	0%	

※1 「中目標」とは、大目標(計画記載の目標Ⅰ～Ⅵ)内の目標値のある項目で、大目標への達成状況を測るために設定したもの。

※2 (例)新型コロナウイルス感染拡大等により予定事業が実施できなかったものの、代替事業を実施するなどして目標に向けて前進したと評価したもの。

(例)目標に達したものの新たな課題がでてきたもの

(例)アンケート結果を指標にしているが基準となる令和2年度結果がないもの 等

② 中目標の評価 ⇨ ①の平均点により評価

評価	配点
A 順調に進んでいる	8超～10.0
B 概ね順調に進んでいる	6超～8.0
C 少し遅れている	4超～6.0
D 遅れている	0～4.0

③ 大目標(計画記載の目標Ⅰ～Ⅵ)の評価

⇨ 中目標の評価(②)を元に総合的に評価

目標Ⅰ 地域における連携強化

1) 地域における相談・見守り体制の充実、連携強化の実績・評価

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
地域包括支援センターの 相談対応実件数 (件/年)	目標	—	7,200	7,250	7,250	A
	実績	7,011	6,675	7,246	8,149	
地域包括支援センターの 認知度 (%)	目標	—	40	45	50	B
	実績	—	33.0	33.4	—	
地域ケア会議において 明確化された地域課題数 (件/年)	目標	—	5	5	5	C
	実績	1	3	3	0	

☞ (中目標の評価) 平均点 8.0点 **B 概ね順調に進んでいる**

2) 医療と介護の連携強化の実績・評価

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
おうちで療養相談センター まえばしへ初めて相談した 専門職の人数 (人/年)	目標	—	25	25	25	A
	実績	60	77	53	47	
認知症初期集中チームへの 医療・介護関係者からの依 頼件数 (件/年)	目標	—	12	13	14	A
	実績	10	15	16	14	
ACPと私の人生ノートに関す る講習会の受講者数 (人)	目標	—	150	200	250	A
	実績	13	65	234	447	

☞ (中目標の評価) 平均点 10.0点 **A 順調に進んでいる**

目標Ⅰのまとめ

地域包括支援センターの機能強化

- ・相談件数の増加、内容の複雑化、認知度の向上などの課題の解決に向けた取組の中で、新たな課題と今後の方針が明確にされている。
- ・地域住民との信頼関係をさらに深めるため、今後も業務を行う中で課題を発見し、改善していくという流れを継続的に行うことが重要。

地域ケア会議

- ・地域課題の整理と解決に向け、地域包括支援センター内の地域ケア会議部会及び地域ケア推進会議への提案準備の場である「準備会」の新設、地域課題検討会議の試行的な開催などにより、各地域包括支援センターから抽出された地域課題の整理や地域ケア推進会議への提起方法などの検討を行った。
- ・自立支援型地域ケア個別会議では、専門職の助言や個別課題から抽出された地域課題等をまとめ、介護支援専門員等へ情報共有を図った。
- ・未だ解決に向けた流れに不透明な部分があるため、実施、評価、改善を繰り返すことで、地域課題の解決サイクルの創出を図る。

医療と介護の連携強化

- ・目標値を超える成果を上げている。一方で、おうちで療養相談センターまえばしへの相談件数が伸び悩んでいるなどの課題。
- ・周知方法の工夫を重ねることで、医療と介護を抱える高齢者が住み慣れた場所で生活し続けられる地域を目指す。

認知症に関する取組の強化

- ・認知症初期集中支援チームにより早期発見・早期対応を図っているが、支援チームにつなぐ医師が固定化しており、相談数が伸び悩んでいる。
- ・原因把握と課題解決に向けた対策を実施しているので、今後も評価・改善を繰り返すことが重要。

看取りに関する取組の強化

- ・目標値を超える成果を上げている。
- ・看取り自体が今後も増加すると予想されるため、ACPに関する知識の普及を一層図る必要がある。

目標Ⅱ 高齢者を支える生活支援体制の構築

1) 地域の多様な主体による支え合いづくりの推進の実績・評価

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
町社協設立モデル事業の 累計申請数 (件)	目標	—	40	—	—	B
	実績	20	35	—	—	
支え合い活動助成金の累計申請数 (件)	目標	—	—	50	60	—
	実績	—	—	—	—	
地域資源情報の累計把握数 (件)	目標	—	740	760	780	C
	実績	715	695	711	689	

☞ (中目標の評価) 平均点 7.0点 **B 概ね順調に進んでいる**

2) 利用者のサービス選択の自由と権利擁護の仕組みづくりの実績・評価

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
地域包括支援センターにおける 成年後見制度に関する延べ相談件数 (件/年)	目標	—	130	140	150	A
	実績	138	211	209	267	
成年後見制度 市長申立て相談件数 (件/年)	目標	—	6	7	8	A
	実績	8	27	19	27	
認知症高齢者等成年後見制度利用助成事業 後見人等の報酬費用の申請件数 (件/年)	目標	—	20	20	22	A
	実績	15	26	16	25	
地域包括支援センターにおける高齢者虐待に 関する延べ相談件数 (件/年)	目標	—	1,600	1,700	1,800	B
	実績	2,161	2,407	2,018	1,529	
高齢者虐待に関する通報件数 (件/年)	目標	—	85	90	90	B
	実績	85	72	79	89	

☞ (中目標の評価) 平均点 9.2点 **A 順調に進んでいる**

目標Ⅱのまとめ

生活支援体制整備

- ・町社協設立や地域資源情報の把握と普及促進に、市社会福祉協議会や地域包括支援センターと協力して取り組んでいる。
- ・地域の実情に違いにより進捗状況に差はあるものの、概ね目標どおりに進んでいる。
- ・地域で支え合う社会の実現のために欠かせない事業のため、粘り強く取り組み続けることが重要。

成年後見制度の利用促進

- ・相談体制の確保、複合的な課題を抱える事案への対応、報酬補助の対象者の拡大などが課題。
- ・成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者は増加傾向にあることから、課題の解決に向けて、連携の強化や体制の充実に注力する必要。

高齢者虐待防止等への対応

- ・虐待の早期発見と未然防止のための具体的な取組が行われ、課題と今後の方針が明確にされている。
- ・今後も業務を行う中で課題を発見し、改善していくという流れを継続的に行っていくことが大切。

目標Ⅲ 介護予防・健康づくりの推進

1) 介護予防の推進の実績・評価

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

指 標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
訪問型サービス							
訪問型サービスA 利用者数	(人/月)	目標	—	35	41	47	D
		実績	30	22	17	11	
訪問型サービスC 利用者数	(人/年)	目標	—	5	5	5	A
		実績	7	11	10	8	
通所型サービス							
通所型サービスA 利用者数	(人/月)	目標	—	180	180	180	D
		実績	145	124	125	126	
通所型サービスC 参加実数	(人/年)	目標	—	96	120	132	B
		実績	40	38	48	32	
その他の生活支援サービス(配食サービス)							
実利用者数	(人/年)	目標	—	520	530	530	D
		実績	503	477	414	359	

(2) 一般介護予防事業(介護予防把握事業)

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
介護予防事業の対象者の把握数	(人/年)	目標	—	3,500	3,722	3,747	D
		実績	—	172	47	52	

(3) 一般介護予防事業(介護予防普及啓発事業)

指標		第7期	第8期				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
ピンシャン！元気体操教室							
延べ参加者数	(人/年)	目標	—	30,000	30,000	50,000	A
		実績	26,188	34,346	60,477	72,767	
高齢者健康教育(教室)							
市主催・老セン:延べ利用者数	(人/年)	目標	—	3,700	3,700	5,000	A
		実績	2,076	3,126	6,323	6,897	
高齢者健康相談							
市主催・老セン:延べ利用者数	(人/年)	目標	—	9,000	9,000	9,000	D
		実績	5,534	4,973	5,433	5,173	
一般介護予防教室							
参加者数	(人/年)	目標	—	1,000	1,000	1,500	D
		実績	456	575	710	479	

(4) 一般介護予防事業(地域介護予防活動支援事業)

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
ピンシャン体操クラブ							
体操クラブ活動数	(クラブ)	目標	—	70	73	76	C
		実績	67	66	64	65	
はつらつかフェ							
はつらつかフェ設置数	(か所)	目標	—	27	28	29	A
		実績	26	26	31	32	
介護予防サポーター育成							
介護予防サポーター活動者数	(人/年)	目標	—	750	800	850	C
		実績	774	736	738	714	
認知症サポーター養成							
認知症サポーター養成数	(人/年)	目標	—	800	900	1,000	A
		実績	909	1,314	1,357	1,765	
介護予防活動ポイント制度							
活動ポイント数(活動数)	(ポイント)	目標	—	4,400	6,600	11,000	A
		実績	2,713	4,429	10,223	14,383	

(5) 一般介護予防事業(地域リハビリテーション活動支援事業)

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
地域ケア会議・通いの場でリハビリ専門職が関わった対象者数	(人/年)	目標	—	350	600	880	B
		実績	307	408	873	788	

☞ (中目標の評価) 平均点 7.0点 **B** 概ね順調に進んでいる

2) いきがい活動・社会参加の促進の実績・評価

(1) 有償ポイント(介護予防活動ポイント制度)

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
介護予防活動ポイント交換者 (活動者数) (人/年)	目標	—	140	210	350	A
	実績	177	208	312	383	

(2) 人が集う居場所づくり(通いの場設置数・活動者数)

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
はつらっカフェ設置数 (か所)	目標	—	27	28	29	A
	実績	26	26	31	32	
体操クラブ活動数 (クラブ)	目標	—	70	73	76	C
	実績	67	66	64	65	
認知症カフェ(はつらっカフェ含む) 延べ参加者数 (人/年)	目標	—	1,000	2,500	6,000	C
	実績	1,203	1,848	3,254	3,951	
その他の住民主体の通いの場の把握数 (か所)	目標	—	30	45	60	A
	実績	0	20	16	189	
老人福祉センター利用者満足度 (%)	目標	—	93	94	95	C
	実績	95	91	93.6	91.6	

☞ (中目標の評価) 平均点 8.0点

B 概ね順調に進んでいる

3) 高齢者の健康づくりの実績・評価

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
①ハイリスクアプローチ: 圏域ごと1～2人	(人/年)	目標	—	110	145	200	C
②ポピュレーションアプローチ: 1圏域20人		実績	—	87	69	139	

(内訳)①HRA : 66人(総支援件数)

②PLA : 実施圏域5、参加者累計73人

➤ (中目標の評価) 平均点 6.0点 C 少し遅れている

目標Ⅲのまとめ

新型コロナウイルス感染拡大による影響

- ・計画期間の大半がコロナ禍による外出自粛期間であった。
- ・法人主体のはつらつかフェや、オンライン参加を可能にしたピンシャン！元気体操教室は、コロナ禍であっても設置数や参加者を伸ばした。
- ・市民が主体となるピンシャン体操クラブや介護予防サポーターの活動数などは伸び悩み、計画どおりに進められなかったものもあった。

地域活動への参加は市民の関心が高い

- ・健康づくりを進め、介護予防の効果を得るには、市や法人だけでなく、地域住民の自主グループの育成や活動の継続が重要。
- ・令和4年度実施の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査で、「健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に『参加者』として参加してみたいと思いますか」という問いでは、全体の52.4%が参加に前向きな回答をしたことから、市民からも地域の関心が高いことがうかがえる。

地域の介護予防、健康づくり、生きがい活動の促進に継続して取り組むこと重要

- ・引き続き、市民からのニーズを把握し、生きがい活動に結び付けるとともに、市と地域住民、法人が協働して、地域の介護予防、健康づくりに取り組むことが重要。

目標Ⅳ 認知症高齢者支援の充実

1) 認知症との共生の実績・評価

(1) 認知症ケアパスの活用

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込値)	評価
(認知症ケアパス) 市民への配布数	(冊/年) 目標	—	8,150	8,200	8,250	B
	実績	6,000	6,800	7,000	7,000	

(2) 認知症高齢者見守りネットワークの整備

指標		第7期	第8期				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価	
SOSネットワーク体制の構築							
累計事前登録者数	(人)	目標	—	490	500	520	A
		実績	439	478	500	526	
まちの安全ひろメール登録者数	(人)	目標	—	16,900	17,000	17,100	A
		実績	17,017	16,970	17,013	17,643	
SOSネットワーク事業による 発見率	(%)	目標	—	18	22	26	C
		実績	10	5	9	4	
GPS端末貸出事業							
行方不明後1時間以内に 発見された延べ件数割合	(%)	目標	—	80	82	84	B
		実績	82	91	72	76	
介護負担が軽減した介護者数 (アンケートによる)	(人)	目標	—	20	23	26	B
		実績	—	28	26	21	
認知症地域支援推進員等設置事業							
認知症に関する相談件数	(件/年)	目標	—	2,150	2,200	2,250	A
		実績	4,057	4,221	3,944	4,430	
認知症サポーター養成							
認知症サポーター養成数	(人/年)	目標	—	800	900	1,000	A
		実績	909	1,314	1,357	1,765	

(3) 認知症カフェの推進

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
認知症カフェ(はつらつカフェ含む) 延べ参加者数 (人/年)	目標	—	1,000	2,500	6,000	C
	実績	1,203	1,848	3,254	3,951	

(4) 認知症本人ミーティングの開催

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
本人視点を取り入れた施策の企画・ 立案数	目標	—	課題抽出	企画・施策案	1	A
	実績	—	アンケート調査	1	2	

☞ (中目標の評価) 平均点 8.6点 A 順調に進んでいる

2) 認知症の予防の実績・評価

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込値)	評価
支援チームの介入により新たな医療・介 護サービスにつながった人の割合 (%)	目標	—	61	62	63	B
	実績	82	77	50	57	

➤ (中目標の評価) 平均点 8.0点 B 概ね順調に進んでいる

目標Ⅳのまとめ

認知症支援として

- ・主に認知症を持つ高齢者及びその家族等の介護者を支えるための体制構築と、当事者以外の市民への理解促進、そして、症状前又は初期症状の高齢者に対する初期集中支援に取り組んでいる。

認知症高齢者見守りネットワークの整備

- ・例えば事前登録者が増加している一方で短時間での発見率が低くなっているため、効果が測れていない事業の見直しが必要。
- ・高齢者の早期発見には、地域住民にも普段から認知症支援について関心を持ってもらうことが不可欠。
- ・引き続き、認知症ケアパスの周知や認知症サポーターの育成等により、認知症の症状や対応方法についての市民の理解促進に努めることが重要。

初期集中支援

- ・市や地域包括支援センター、前橋市医師会が連携して、早期発見、早期対応に向けた支援を行っている。
- ・認知症初期集中支援チーム員の活動量や対象となる高齢者の把握等に課題があるため、解決に向けた検討を続けることが必要。

本人視点の施策も

- ・令和4年度より開始した伴走型支援事業や本人ミーティング等を活用し、本人の視点を取り入れた企画立案を進めることも重要。

目標Ⅴ サービスの充実と暮らしの基盤の整備

1) 介護保険給付対象外の高齢者福祉サービス事業の実績・評価

(1) 日常生活での支援サービス

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
高齢者支援配食サービス							
実利用者数	(人/年)	目標	—	690	700	710	D
		実績	689	673	565	488	
生活管理指導短期宿泊							B
利用者数	(人/年)	目標	—	20	25	25	
		実績	13	9	3	4	
緊急通報システム設置件数	(件)	目標	—	240	250	260	A
		実績	266	317	385	427	
電話訪問実登録者数	(人)	目標	—	70	75	80	B
		実績	60	57	72	63	

(2) 高齢者福祉サービスの周知方法

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
高齢者福祉サービスの認知度	(%)	目標	—	50	60	C
		実績	46.9	42.1	31.0	

➤ (中目標の評価) 平均点 7.2点 **B 概ね順調に進んでいる**

2) 介護保険サービスの充実の実績・評価

(1) リハビリテーション提供体制の確保 ※再掲

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
地域ケア会議・通いの場でリハビリ専門職が関わった対象者数 (人/年)	目標	—	350	600	880	B
	実績	307	408	873	800	

(2) 介護保険施設・地域密着サービスの整備

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
介護保険施設等の整備							
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	(人)	目標	—	1,959	1,989	1,989	A
		実績	1,959	1,959	1,959	1,989	
介護医療院 (介護老人保健施設からの転換)	(人)	目標	—	65	65	65	A
		実績	26	65	65	65	
特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)	(人)	目標	—	840	920	920	B
		実績	680	810	890	890	
地域密着型サービスの整備							
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	(人)	目標	—	504	522	522	B
		実績	486	495※	513	513	
小規模多機能型居宅介護	(人)	目標	—	499	528	528	A
		実績	499	499	517	528	

※R4.3.31 に施設廃止により、-1施設、-9人

➤ (中目標の評価) 平均点 9.0点 A 順調に進んでいる

➤ 介護保険施設・地域密着型サービスの整備目標及び取組状況(R6.3.31時点)

施設(サービス)区分		単位	第7期計画	第8期計画整備数							総数	
			(令和2年度末)	令和3年度		令和4年度		令和5年度	合計		(令和6年3月31日時点)	
			実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	実績	目標	実績
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	広域型	定員	1,804	0	-	30	30	0	30	30	1,834	1,834
	地域密着型	定員	155	0	-	0	-	0	0	-	155	155
	合計	定員	1,959	0	0	30	0	0	30	30	1,989	1,989
介護老人保健施設		定員	1,044	-39	-39	0	-	0	-39	-39	1,005	1,005
介護医療院		定員	26	39	39	0	-	0	39	39	65	65
特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)		定員	680	160	130	80	80	0	240	210	920	890
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)		事業所	39	1	1※1	1	1※2	0	2	2	41	40※3
		定員	486	18	18	18	18	0	36	36	522	513※3
小規模多機能型居宅介護		事業所	18	0	-	1	1※2	0	1	1	19	19
		登録定員	499	0	-	29	29	0	29	29	528	528
看護小規模多機能型居宅介護		事業所	1	0	-	0	-	0	0	-	1	1
		登録定員	29	0	-	0	-	0	0	-	29	29
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		事業所	3	0	-	0	-	0	0	-	3	4※4

※1) 城南・大胡・宮城・粕川圏域を除く市内全域

※2) 認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設、城南・大胡・宮城・粕川圏域を優先

※3) R4.3.31に施設廃止により、-1施設・-9人

※4) R5.10.1に1事業所が事業者申請により指定・開設

➤ 令和3年度 施設整備計画の取組結果

施設種別	認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	介護医療院 (介護老人保健施設からの転換)	特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)
整備区分	新設	転換	転換
進 捗	選定済	選定済	選定済
選定法人	株式会社フロンティア	医療法人社団生方会	① 社会福祉法人ほたか会 ② グリーンライフ東日本株式会社 ③ ちよだ株式会社
施設名 事業所名	グループホームウェルスタイル上小出 (R4.7.1開設)	介護医療院ふえき (R4.4.1転換)	① 介護付有料老人ホームグランポルト前橋 ② グリーンライフ中央前橋 ③ 介護付有料老人ホームグランヴィル前橋 (各R4.4.1転換)
所在地	上小出町二丁目 (南橋圏域)	表町二丁目 (北部・中部圏域)	① 昭和町三丁目(北部・中部圏域) ② 三河町一丁目(若宮・城東・中川圏域) ③ 千代田町三丁目(北部・中部圏域)
整 備 数	1施設18人分	39人分	130人分

➤ 令和4年度 施設整備計画の取組結果

施設種別	小規模多機能型居宅介護と 認知症対応型共同生活介護 の併設	特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
整備区分	新設	新設	増床
進 捗	選定済	選定済	選定済
選定法人	株式会社フロンティア	ミモザ株式会社	社会福祉法人緑風会
施設名 事業所名	ウェルスタイル筑井 (R5.9月開設)	ミモザ前橋 (R6.3月開設)	(仮称)特別養護老人ホーム おうとうえん (R7.3月開設予定)
所 在 地	筑井町(城南圏域)	江田町(東圏域)	房丸町 (上川淵・下川淵圏域)
整 備 数	・小多機(登録定員):29人 ・グループホーム:18人分	1施設80人分	1施設30人分

2) 介護人材の確保・育成の充実の実績・評価

指標			第7期	第8期			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
介護に関する入門的研修							
研修修了者数	(人/年)	目標	—	55	55	55	C
		実績	49	38	27	48	
訪問型サービスA従事者養成研修							
研修修了者数	(人/年)	目標	—	30	30	30	C
		実績	0	6	29	14	

➤ (中目標の評価) 平均点 6.0点 C 少し遅れている

目標Ⅴのまとめ

高齢者福祉サービス事業（介護保険給付対象外）

- ・見守り・安否確認サービスは利用者を増やしている一方で、対象要件を見直した日常生活での支援サービスは目標に達しなかった。
- ・対象となる市民がサービスを受けられるよう、行政機関以外の場所やインターネットを活用し、有効な周知方法を模索していく必要。

介護保険施設

- ・概ね計画どおりに進めることができた。

介護人材の確保・育成

- ・研修の参加者が目標値に届いていないことから研修参加者の増加はもちろん、研修修了後の就労への結びつけを図るほか、介護職が学生の進路や就職選択の一つとなるよう、その魅力を伝える取組も継続して行う。

目標Ⅵ 安定した介護保険制度の運営

(1) 要介護認定の適正化

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
調査票の全数点検	目標	—	全数	全数	全数	A
	実績	全数	全数	全数	全数	
認定調査員研修会の実施 (回/年)	目標	—	2	2	2	A
	実績	1	2	1	2	
介護認定審査員研修・連絡調整会議 における各委員の最低参加回数 (回/年)	目標	—	1	1	1	A
	実績	1	1	1	1	
介護認定審査会合議体委員の入替 (回/年)	目標	—	改選	1	改選	A
	実績	1	改選	1	改選	

(2) ケアプランの点検

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
ケアプラン点検数 (うち、有老等に焦点を当てた点検数) (件/年)	目標	—	60(0)	80(20)	80(20)	A
	実績	73	74(11)	85(30)	81(56)	

(3) 住宅改修等の点検

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
住宅改修における現地調査数 (件/年)	目標	—	4	4	4	B
	実績	8	4	4	2	
福祉用具貸与における実態調査数 (件/年)	目標	—	1	1	1	A
	実績	2	1	1	1	

(4) 縦覧点検・医療情報との突合

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
点検帳票数	目標	—	5	5	5	A
	実績	5	5	5	5	
医療情報との突合月数	目標	—	毎月実施	毎月実施	毎月実施	A
	実績	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	

(5) 介護給付費通知の送付

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
周知方法の工夫	目標	—	周知方法の検討等	検討結果の実施	検討結果の実施	A
	実績	広報・ホームページ	周知方法の検討等	検討結果の実施	検討結果の実施	

(6) 給付実績の活用

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
事業所単位での確認・指導回数 (回/年)	目標	—	1	2	2	A
	実績	0	1	2	2	

(7) その他の適正化事業

指標		第7期	第8期			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価
説明会の開催回数 (回/年)	目標	—	1	1	1	B
	実績	資料配布	資料配布	資料配布	資料配布	

➤ (中目標の評価) 平均点 9.7点 **A 順調に進んでいる**

目標Ⅵのまとめ

要介護認定における認定調査及び審査会運営の適正化

- ・ 公平公正で、客観的かつ正確な要介護認定の水準が確保されている。
- ・ 今後は、業務効率化の視点から、新たに導入した調査員システムと審査会システムを活用したDX化に継続して取り組み、認定事務の適正化を進める。

ケアプランの点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療情報との突合、給付実績の活用

- ・ パッケージシステム等を活用し、疑義のあるものについては事業所へ確認を行っている。
- ・ 介護保険サービス利用者が年々増え続けている中で、より効率的・効果的に実施することも課題。
- ・ 介護給付適正化主要5事業における国の見直しの方向性を受けて事業の統合・再編を検討。
- ・ 多角的な給付実績の分析や点検を行い、結果を事業者へフィードバックしていくことで、事業者が理解を深めながら適正なサービス実施につなげていく。